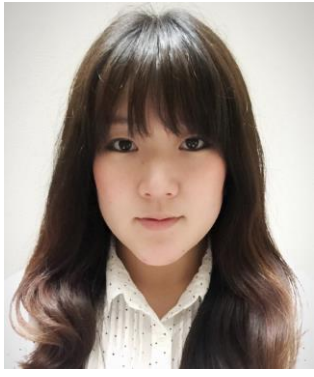



ふりがな 氏名	にしお ありさ	都道府県	三重県	
	<b>西尾 亜利紗</b>			
所属/肩書	<b>四日市市立内部中学校 / 教諭</b>			
私のESD活動	<b>国境を越え、世界中の人々と同じ目線でつながり合い、 よりよい世界を作るためにともに努力できる心の育成</b>			
関心・活動のSDGs				

## 活動の概要

中学校で英語を教える私の目標は、子どもたちが英語を通して人と繋がり合うことの喜びを知り、同じ人間として世界中の人々を大切にできる心を育てることです。そのために日頃の授業で重視している点の一つが、コミュニケーション能力の育成です。授業における様々な場面で、仲間と繋がり合う活動を行っています。毎回 15 分間、生徒は前回とは異なる相手とペアを組み、Daily Questions といった簡単なものから、1 Minute Talk という自由度の高い自己表現活動まで、いくつかのコミュニケーション活動を行います。もちろんなかなか話せない生徒もいますが、その時はペアになった生徒がフォローしようと、相手を理解しようとする姿勢、そして誰かとコミュニケーションを図ることの楽しさを学んでいきます。また、これらの取り組みを続けつつ、英語科として人権学習を行います。例えば、3年生ではキング牧師の I Have A Dream を通し、黒人差別について学びます。実は、キング牧師も、黒人差別さえも知らない生徒が多いのが現状です。中学校の人権学習では、国内のことは考えても、他国の出来事に焦点を当てた人権学習はなかなか行われません。しかし、同じ地球に生きる仲間です。この仲間と繋がり合うため、助け合うために英語は大きな役割を果たす、だから学ぶ、と生徒たちは卒業していきます。こうして、英語力を養うだけでなく、彼らの心を育て、将来に向けて行動できる素地を養うことが私の活動の核となっています。

## 今後の活動の展望と周囲や社会への還元

子どもたちにとってより充実した教育を行います。今の私は、もしかしたら「英語」や「教師」という狭い価値観で物事を考えているのかもしれないと不安に思うことがあります。中学生という時期を過ごす子どもたちにとって、教師という存在は大人としての最も身近な一例であり、彼らの未来に大きな影響を与えることのできる存在です。そんな彼らにとって、私は、人生はこんなにも素敵なことで溢れていると伝えられる例、そして、彼らが持つ可能性をより多く引き出すことのできる教師でいたいと思っています。今回のコンファレンスに参加することで、地球に目を向け、世界に目を向け、今囚われているかもしれない価値観を取り払うとともに、今と未来を考え行動する人々から学び取ったことを、私は私の経験として蓄積し、視野を広げ、日々子どもたちとの関わりの中で一つずつ活かし、教師としてより充実した教育を行っています。今回の出会いも私だけに留まらず、子どもたちにも繋げていきたいと考えています。今回出会った人々を学校に講師として招くことや、ICT を活用して教室と繋げるなどし、子どもたちにも多くの素敵な出会いを経験させたいと思っています。